

公共事業等施行状況調（令和5年7月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (7月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		5年度 C	C/A	4年度 D	D/B	
		5年度	4年度	5年度 A	4年度 B					
1	治山・治水	24,617	23,764	14,339	16,811	5,010	34.9	5,616	33.4	
2	農林・水産	31,136	32,757	23,420	24,654	9,034	38.6	8,712	35.3	
3	道 路	55,593	53,793	30,787	33,860	13,695	44.5	15,594	46.1	
4	港湾・空港	7,562	7,082	3,342	2,983	2,261	67.7	1,726	57.9	
5	下水道・公園	10,777	9,868	2,522	2,732	578	22.9	422	15.4	
6	住 宅	1,298	1,489	1,227	1,045	1,001	81.6	735	70.3	
7	庁 舎	2,374	2,467	2,103	2,315	1,559	74.1	1,440	62.2	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	6,558	5,802	3,929	4,519	1,626	41.4	1,526	33.8	
11	工業用水・上水道等	1,251	950	344	84	11	3.2	50	59.5	
12	災害復旧	5,822	602	5,200	457	1,576	30.3	105	23.0	
13	その他	6,453	7,521	4,259	4,255	1,927	45.2	1,616	38.0	
	計	153,442	146,093	91,472	93,714	38,279	41.8	37,543	40.1	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和5年7月末）

（単位：社、件、百万円、％）

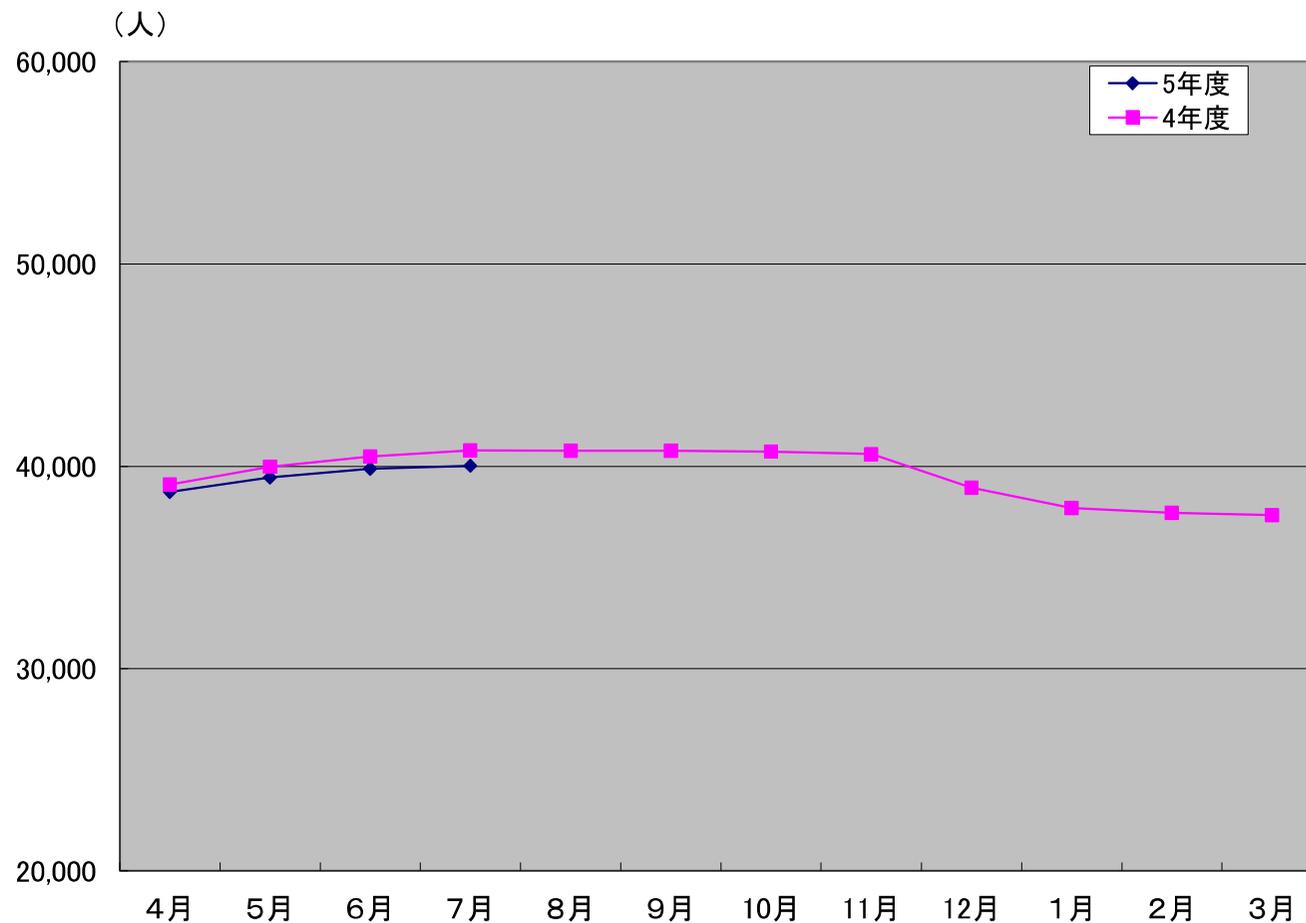
事 項	予 算 措 置 額		発 注 実 績											
	(A)		合 計 (B)			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)		
区 分	事業費	本工事費	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額
5 年 度	153,449	91,472	10,679	990	38,279	10,462	941	33,302	178	36	1,718	39	13	3,259
					41.8	98.0	95.1	87.0	1.7	3.6	4.5	0.3	1.3	8.5
前年度比	105.0	97.6	110.1	104.5	102.0	110.3	105.0	102.2	107.2	97.3	80.0	92.9	92.9	116.0
4 年 度	146,093	93,714	9,697	947	37,545	9,489	896	32,589	166	37	2,147	42	14	2,809
					40.1	97.9	94.6	86.8	1.7	3.9	5.7	0.4	1.5	7.5

被保険者数

	5年度	4年度
4月	38,728	39,104
5月	39,445	39,983
6月	39,880	40,493
7月	40,020	40,790
8月		40,778
9月		40,773
10月		40,728
11月		40,608
12月		38,934
1月		37,942
2月		37,700
3月		37,587

前月末被保険者数	39,880
資格取得者数	620
資格喪失者数	484
転入者数	4
転出者数	0
今月末被保険者数	40,020

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)7月末



建設資材の需給・価格動向調査 (5年8月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	18,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	560	0.0	560	0.0	560	0.0	560	0.0	22,400円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	3,570	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	7,000	13.6	7,000	13.6	7,000	13.6	7,000	13.6	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	40,600	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	14,800	0.0	15,600	0.0	16,700	0.0	15,700	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,500	0.0	3,400	0.0	4,900	0.0	3,933	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,300	0.0	4,400	0.0	4,900	0.0	4,533	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,400	0.0	3,500	0.0	3,700	0.0	3,533	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	151,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	116,000	-0.9	116,000	-0.9	116,000	-0.9	116,000	-0.9	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	111,000	3.7	111,000	3.7	111,000	3.7	111,000	3.7	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	0.0	15,400	0.0	14,300	0.0	14,933	0.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	89,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	132.0	5.6	132.0	5.6	132.0	5.6	132.0	5.6	132,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	93.0	8.1	93.0	8.1	93.0	8.1	93.0	8.1	93,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	1,850	0.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	127,000	-0.8	127,000	-0.8	127,000	-0.8	127,000	-0.8	

建設資材の需給・価格動向調査 (5年8月)

	需給動向								価格動向								備 考			
	青森		弘前		八戸		県平均		青森		弘前		八戸		県平均					
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇		安 定	下 落	
セメント		○			○				○				○					○		普通ポルトランド(バラ)でトン当たり18,400円と前月比変わらず。6月の青森県内の販売量は2万8千トン(協会調べ)で前年同月比18.9%減。生コン向けの出荷が低調であるため、国内需要の低迷が続いている。メーカー各社は、昨年からの値上げ目標額が販売価格に浸透したため、現行価格を維持し、悪化した事業採算の改善に取り組み構え。値上げ要因となった右灰相場にも目立った動きは見られない。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。
コンクリート製品		○			○				○				○					○		道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや増加している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出しているが、電力料金の値上げで、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせている。需要家は短期間で度重なる値上げに難色を示しつつも安定調達を優先し、値上げの一部を受け入れた。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○				○				○					○		県内の7月の出荷量は5万3千m3(生コン工組調べ)で前年同月比7.5%の減少。小規模工事向けが中心で県内全体の生コンの商況は盛り上がり欠いている。セメントや骨材などの値上げ要請があるなか、一部メーカーは、輸送コスト増加や原材料価格の上昇による採算悪化回避のため、今年度2度目の値上げを表明している。メーカーのこうした動きに、需要家は理解を示しつつも慎重な姿勢を崩していない。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○				○				○					○		生コン用、道路用とも引き合いが乏しく、商況は盛り上がり欠いている。メーカーは、運転手確保に向けた輸送コストの増加や燃料費の高止まりが経営を圧迫する状況が続いており、年度内に追加で値上げを予定している。需要家は短期間でのさらなる値上げに対して、慎重な姿勢であるものの、社会情勢の変化に理解を示し受け入れる動きも見られる。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○				○				○					○		SD295・D16でトン当たり116,000円と前月比1,000円の下落。新規需要の減少や作業員不足による工事の遅れから荷動きは鈍く、市中は盛り上がり欠く状況が続いている。メーカー各社は現行価格維持の姿勢を示しているものの、先安視の払拭には至らず安値取引が増加した。需給が引き締まるにはまだ時間を要するとの見方が大勢を占め、需要家は値下げ要求を強めながら当用買いに徹している。流通筋の価格競争は激しさを増すものとみられ、目先、弱基調の公算が大きい。
アスファルト		○			○				○				○					○		7月の県内出荷量は5万トン(合材協会調べ)で前年同期比19.5%の減少。大型物件が少なく、維持修繕など小規模工事向けが中心で商況は盛り上がり欠いている。主原材料であるスタアスが高値圏で推移するなか、メーカー各社は値上げ未達分の浸透を目指して交渉を継続している。一方、需要家は工事量減少による採算悪化を回避すべく値下げ要求を続けており、交渉は平行線を辿っている。交渉はこう着状態が続くと予想され、先行き、横ばい推移の公算が大きい。
木 材		○			○				○				○					○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり89,000円と前月比変わらず。6月の県内新設住宅着工戸数は481戸で前年同月比11.3%の減少(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比13.3%の減少、貸家が同3.9%の減少などとなっている。記録的な物価高が続く状況下で住宅建築需要が盛り上がり、荷動き回復の兆しは見られない。輸入材が下げ止まってきたため、流通各社は現行価格維持の姿勢で需要家に対応している。先行き、横ばいで推移する見通し。
油 類		○			○				○				○					○		軽油はミニローリー渡りでリットル当たり132円、重油はローリー渡りでリットル当たり93円とともに前月比7円上伸。原油相場が上昇したことを受けて、元売り各社は仕切価格を引き上げた。補助の段階的縮減が続くなか、流通筋は採算重視の姿勢で価格転嫁を進め、全油種で値上げ額の一部が浸透した。世界的に経済回復の兆しが見られる一方、サウジアラビアとロシアは独自に実施している供給削減の延長を表明した。需給逼迫の見方が強まっており、目先、強基調の見通し。
型枠合板		○			○				○				○					○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,850円と前月比変わらず。6カ月続いた下落に歯止めがかかった。6月の輸入合板入荷量は14万3千m3で前年同月比38.2%の大幅減少(財務省調べ)。低水準の入荷が続く、市中の在庫量も減少している。需給の引き締まりを踏まえ、流通業者は値下げによる在庫整理から採算重視の姿勢に切り替えてつつある。市中に底値感が台頭したことで需要家にも資材調達を早める動きが出ており、需給はさらにタイト化するとの見方が優勢。先行き、強含みの見込み。
形 鋼		○			○				○				○					○		200×100でトン当たり127,000円と前月比1,000円の下落。メーカー各社は販売価格を据え置いたが、荷動き低迷で流通各社の売り腰は弱く、小幅下落となった。需要家は発注を手控え当用買いの姿勢を強めている。流通は販売量が落ち込んでいるため、在庫調整に取り組んでいるが、目先の売り上げ確保を優先した安値も散見される。需要の中心である中小物件に回復の兆しは見られないため、買い手優位の状況が続くとの見方が多い。目先、弱基調の公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

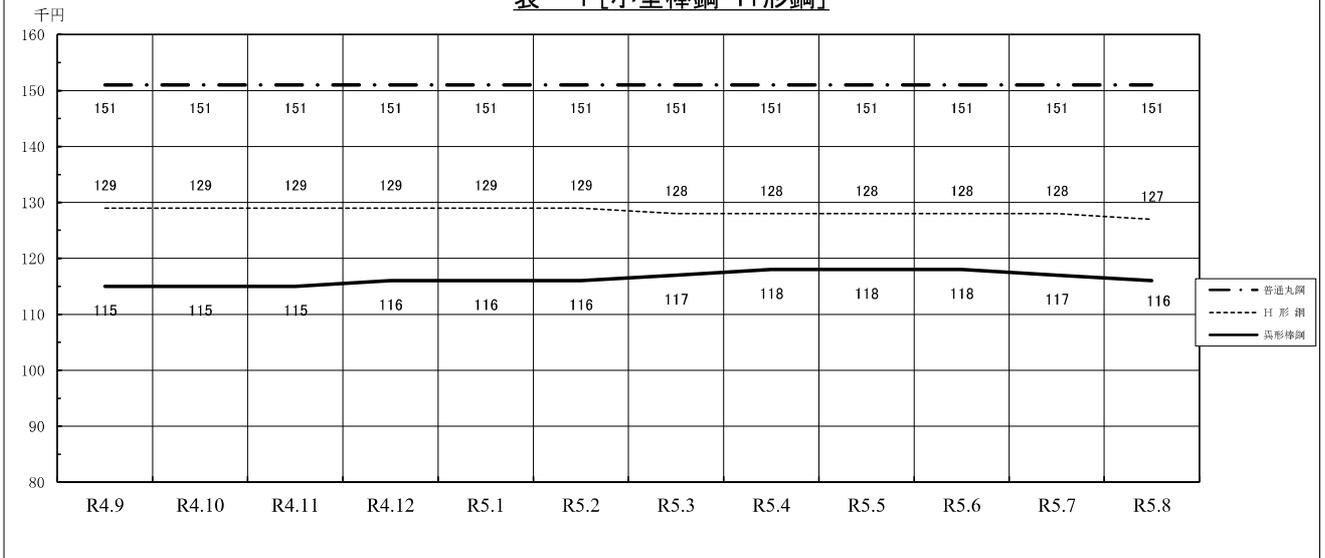


表-2 [セメント・生コン]

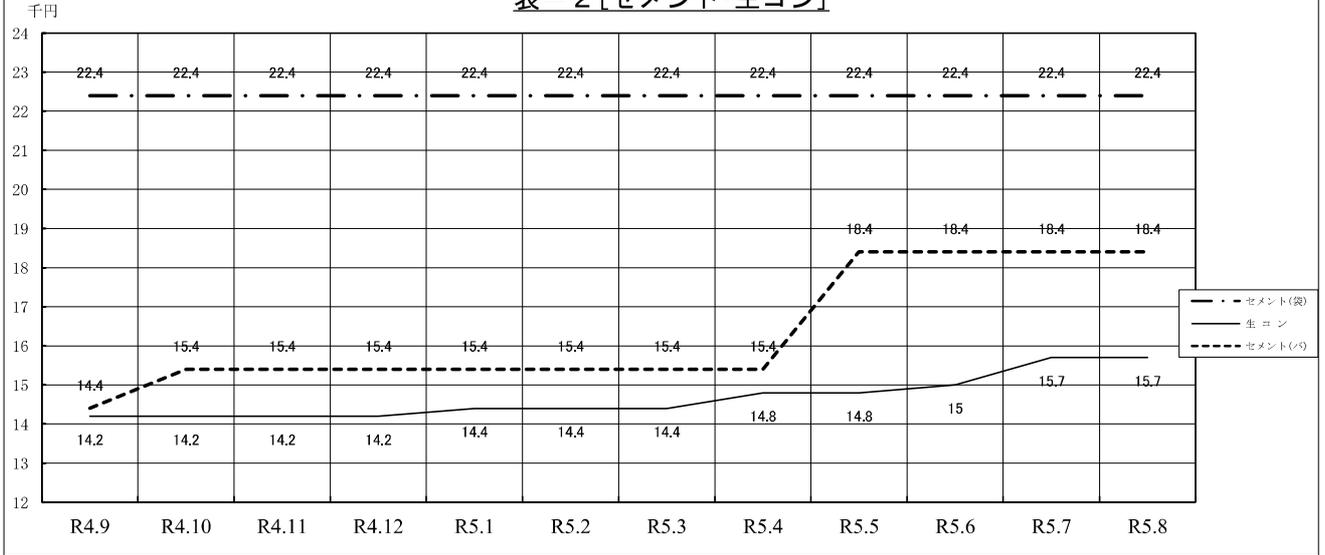
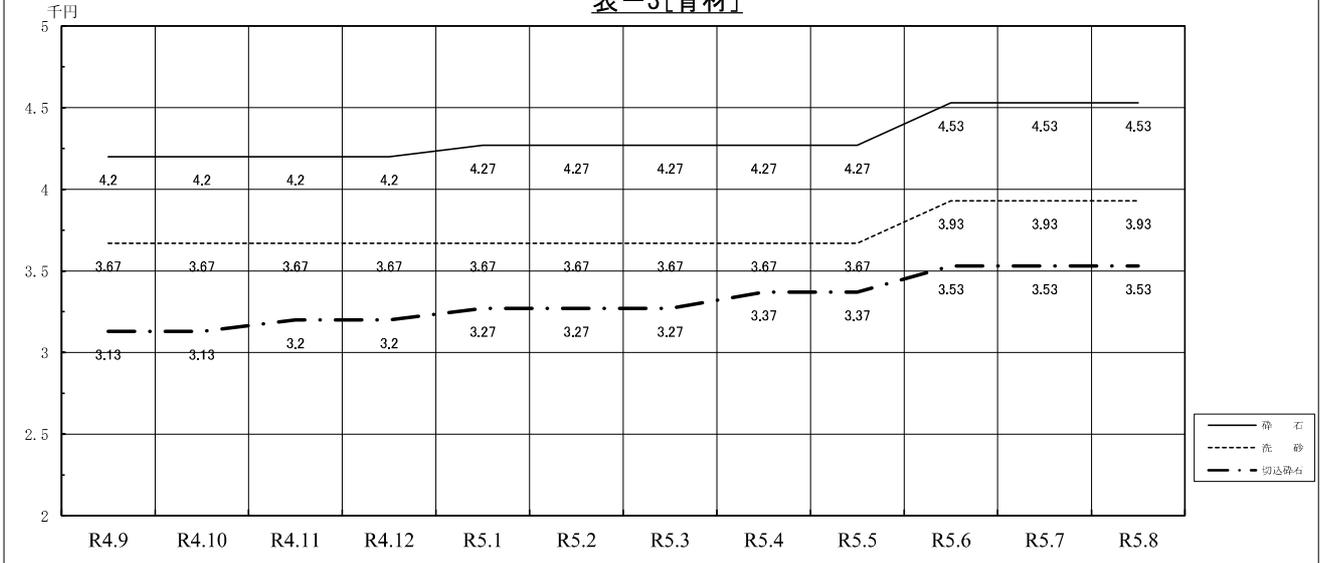


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

